

日本看護研究学会中国・四国地方会 ニュース・レター No. 15

2007.9.1.

第21回学術集会 in 岡山

- テーマ 臨床における研究と基礎研究との融合
- 日時 平成20年3月2日(日)

日本看護研究学会中国・四国地方会事務局
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
広島大学医学部保健学科内



運営委員長 宮腰由紀子(広島大学大学院保健学研究科)

中国・四国地方会は、前運営委員長の深井喜代子先生の実のある行動力の下に参集された運営委員会の皆様の活発で建設的なご活躍のお陰により、現在の当地方会の会員数はとうとう800名を超えるにいたりました。この勢いを維持して充実した地方会活動を継続するためには、会員の皆様の更なるご協力と積極的な御参加が必要です。今年4月より引継がせていただきました新委員一同としては、その重圧をひしひしと感じ、気を引き締めて対処して参る所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。また、円滑な委員会活動運営が欠かせませんが、前委員長をはじめ前委員の皆様の貴重なご体験からのご助言とご支援を頂きながら、着実に進んでまいりたいと存じますので、なにと

ぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、本会は今年で33年目を迎えました。今後は、法人化への作業が本格化いたします。それを受けて、地方会規則の再検討などの諸活動も生じると思われ、連絡やお知らせの機会が多くなると予測されます。幸いに昨年刷新された学会ホームページは、地方会のホームページとの関係が改善されておりますので、その活用なども検討して遅滞なく進めて参りたいと存じます。今年の当地方会の学術集会は岡山の地で開催されますが、村上実行委員長のもと、実行委員の皆様のご活動のお陰で、順調に準備が整えられております。皆様の積極的なご参加を、お待ちしております。

第20回学術集会が高知で開催されました

20回学術集会 (in 高知)

「看護実践における地域医療連携」

学術集会事務局を担当して 高知医療センター看護局 吉村利津子

テーマ「看護実践における地域医療連携」と題した第20回学術集会は、3月4日(日曜日)高知医療センター2階くろしおホールをメイン会場として開催されました。

3月初旬の暖かな晴天に恵まれ、中国・四国全般から254名の多くのご参集をいただき盛会に終えることができました。お蔭様で午前中の口演・示説会場も白熱した意見交換ができましたし、午後からの特別セミナーでは、事例を元にもやもやした疑問から研究課題にどうつなげていくか、わかりやすく学ぶことができました。またシンポジウムでは、「ケアの継続と質の向上をめざした地域医療連携」について、先駆的に実践されているシンポジストの吉村繁子先生、吉田美由紀先生、森下安子先生それぞれのご発表に興味深く聴講され会場満杯のとなりました。このように本学術集会は、研究の推進と地方会ならではの課題に対して、集いやすく学びの多い集会であることを実感いたしました。

昨年5月に第1回実行委員会を皮切りに準備を進めて参りました。特に臨床の看護師は、学会参加はあっても事務局をお預かりするのは初めてのことで、皆様のお力を頂きながらこのような気持ちで終えることができ感謝です。ご参加いただきました皆様にこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

第20回学術集会に参加して

第20回学術集会メインテーマは「看護実践における地域医療連携」であり、シンポジウムでは、急性期病院、地域在宅医療、看護教育の各現場で「地域医療連携における取り組み」をパワフルに実践するシンポジストの方々の活動に触れた。我々看護職者にできることはまだまだたくさんあり、常に国民に必要とされる存在となれるよう努力していかなければならないと感じた。次回、第21回学術集会は私の所属する岡山県立大学で行われる。高知医療センター全体を有効に使って、大勢のスタッフがきびきび動いておられたもてなしの心に学ぶところが多く、現在、実行委員長を中心に準備をしている。

(岡山県立大学 重西桂子)



平成18年度事業報告

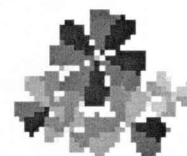
1. 第20回学術集会開催
 実行委員長：梶本市子氏（高知医療センター）
 日時：平成19年3月4日（日）
 場所：高知医療センター
 テーマ：看護実践における地域医療連携
 演題：33題 参加者：254名（事前申込199名を含む）
2. 平成17年度総会開催
 日時：平成19年3月4日（日）11:30～12:00
 場所：高知医療センター くろしおホール
3. ニュース・レターNo. 14の発行
 平成18年9月
4. 委員会活動
 - 1) 運営委員会
 - (1) 第1回運営委員会会議（平成18年9月1日：岡山）
 - ①第20回学術集会準備状況説明
 - ②ニュース・レター，ホームページ内容の検討，修正
 - ③地方会予算 本部からの補助金増額
 - ④第21回学術集会実行委員長の決定
 村上生美氏（岡山県立大学保健福祉学部）
 - (2) 第2回運営委員会会議
 （平成19年3月3日：高知医療センター）
 - ①平成18年度事業報告，会計報告
 - ②平成19年度事業計画案，予算案等の検討
 - ③新運営委員への引継ぎ
 - 2) 学術委員会
 - (1) 第3回委員会を平成18年3月に開催
 - ①第21回学術集会開催地検討
 - ②第20回学術集会特別セミナーについて検討
 - ③今後、学術集会において優秀な口演・示説発表を行った人及びグループに表彰を設けてはどうかという意見があり、継続審議となった
 - (2) 第4回委員会を平成18年9月に開催
 - ①第20回学術集会における特別セミナーの企画・内容を検討
 - (3) 第5回委員会を平成19年3月に開催
 - ①第22回学術集会開催地の検討
 - ②研究活動推進の内容
 - ③第20回学術集会特別セミナーの最終打合せ
 - 3) 広報委員会
 - (1) 第1回委員会を平成18年5月に開催
 - ①ニュース・レター内容検討，編集作業確認
 - ②地方会ホームページ内容検討
 - (2) ニュース・レター編集
 No. 14編集，事務局に原稿提出
 - (3) 地方会ホームページ更新
 第19回学術集会報告，第20回学術集会プログラム追加，運営委員名簿の変更を行い事務局に原稿提出

ホームページ開設場所が変更になりました

【ホームページ アクセス方法】

日本看護研究学会 <http://www.jsnr.jp/> より

日本看護研究学会中国・四国地方会 http://www.jsnr.jp/chihoukai/chugoku_shikoku.html へ



平成18年度会計報告

【収入の部】

項 目	予 算	決 算
前年度繰越金	200,066	200,066
地方会補助金	250,000	380,000
雑収入	5	11
合 計	450,071	580,077



【支出の部】

項 目	予 算	決 算
郵送通信費	80,000	68,580
事務費	30,000	27,647
人件費	30,000	8,000
運営委員会活動費	80,000	103,822
印刷費	80,000	66,045
ホームページ管理費	70,000	40,000
記念事業等積立金	20,000	20,000
ホームページ運用積立金	20,000	20,000
予備費	25,000	26,430
次年度への繰越金	15,071	199,553
合 計	450,071	580,077

平成19年度事業計画

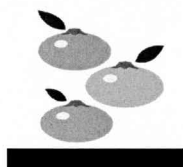
1. 第21回学術集会開催
実行委員長：村上生美氏
(岡山県立大学保健福祉学部)
場 所：岡山県立大学
日 時：平成20年3月2日(日)
2. 平成19年度総会開催
第21回学術集会開催時(岡山県立大学)
3. ニュース・レターNo. 15発行
編集：広報委員会
4. 委員会活動
 - 1) 運営委員会
第1回：岩手
第2回：岡山
 - 2) 学術委員会
学術集会支援
 - 3) 広報委員会
ホームページ更新
ニュース・レター編集



平成19年度予算

【収入の部】

項 目	18年度実績	19年度予算
前年度繰越金	200,066	199,553
地方会補助金	380,000	380,000
雑収入	11	11
合 計	580,077	579,564



【支出の部】

項 目	18年度実績	19年度予算
郵送通信費	68,580	80,000
事務費	27,647	30,000
人件費	8,000	30,000
各種委員会活動費	103,822	130,000
印刷費	66,045	80,000
ホームページ管理費	40,000	70,000
記念事業等積立金	20,000	20,000
ホームページ運用積立金	20,000	20,000
予備費	26,430	30,000
次年度への繰越金	199,553	89,564
合 計	580,077	579,564

お知らせ

【学術委員会】

平成19年度の学術委員会の活動は、第21回学術集会とそれにあわせて開催する「特別セミナー」の企画です。学術集会は岡山県立大学で準備中ですが、「特別セミナー」はこれから学術委員で計画します。このセミナーは会員の看護研究に対するニーズに応えるためにこれまでさまざまな工夫がなされ、好評を博してきました。本年も期待に沿えるように準備したいと思います。(学術委員長：村上生美)

【広報委員会】

平成19年度の広報委員会の活動では、ニュース・レター15号の発行とホームページの更新をいたします。中国・四国地方会のサーバーは、日本看護研究学会のサーバーに入れて頂くことになりました。今後、より一層内容を充実させて、看護研究学会中国・四国地方会活動をアピールしていきたいと考えています。皆様方からのご意見等をお待ちしています。(広報委員長：猪下 光)

【事務局】

不慣れな業務の為、皆様にはご面倒をお掛けしておりますことを、まずはお詫び申し上げます。3年間、円滑な地方会運営のための事務処理を滞りなく行うために、努力をして参る所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。手始めに、学内事務処理との混乱回避目的で、広島大学のサーバーに「中国・四国地方会事務局」を設定して、運営委員会や本部との通信を行っておりますが、御陰様で順調に進んでおります。

(事務局長：藤井宝恵)